

建設コンサルタントの魅力を発信するために

「建設コンサルタント活動の「広報」の在り方」



建設コンサルタント協会

50周年記念講演会パネルディスカッション

- <パネリスト>
- ・高橋亮平(元 松戸市政担当官政策推進研究室長)
 - ・高久 裕(月間「MAMOR」自衛隊広報誌編集長)
 - ・平原由三枝(NHKエンタープライズ経営企画室業務主幹)
 - ・長谷川伸一(建設コンサルタント協会副会長(広報戦略委員長))
- <コーディネーター>
- ・野崎秀則(建設コンサルタント協会 常任理事 企画部会長)



高橋氏



高久氏



平原氏



長谷川氏



野崎氏

建設コンサルタントの職業としての魅力と、社会資本整備の重要性、その過程における役割をどのようにして国民に発信するか。建設コンサルタント協会 建設一貫大島一哉会長は7月3日、設立50周年を記念するパネルディスカッションを大手町サンゲイツホール(東京都千代田区)で開き、国民の安心・安全を暮らしと経済活動の基盤として支える社会資本整備を、専門技術者集団として支える建設コンサルタントの「広報」の在り方について、人々の有識者の経験と知見、そして視点を借りて熱く意見を交わした。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

高橋 広報は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。確かに、東日本大震災の際の自衛隊の活躍は、マスコミ、そして国民に好意的に受け止められたと思う。災害派遣は自衛隊の任務として国民に認識されるようになったと思うが、自衛隊の本来の任務防衛。このことを踏まえて広報でどうにか「広報」は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。北朝鮮からのミサイル飛来が懸念されている。市ヶ谷駐屯地にも迎撃ミサイルが配備されたが、「インシデント」の発生が懸念されるから撃つことは難しい。自衛隊の駐屯地近くの住民も「陸軍」として入ると、海上自衛隊を海上保安庁だとの間違えて「海狼カモイヤー」として若い女性にだてていられる。

高久 自衛隊は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。確かに、東日本大震災の際の自衛隊の活躍は、マスコミ、そして国民に好意的に受け止められたと思う。災害派遣は自衛隊の任務として国民に認識されるようになったと思うが、自衛隊の本来の任務防衛。このことを踏まえて広報でどうにか「広報」は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。北朝鮮からのミサイル飛来が懸念されている。市ヶ谷駐屯地にも迎撃ミサイルが配備されたが、「インシデント」の発生が懸念されるから撃つことは難しい。自衛隊の駐屯地近くの住民も「陸軍」として入ると、海上自衛隊を海上保安庁だとの間違えて「海狼カモイヤー」として若い女性にだてていられる。

長谷川 私は建設業界はもともと広報を重要視してはなかった。これまで社会資本整備そのものの社会貢献が考えてきた。だが、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

高橋 副会長は「何で理解されないのか」という問いを、今までと同じ「JCA」で語っていきなさいと、うなづかせる。そんな言葉は、聞かなくていい。建設業界は、自分たちが伝えたこと(情報)で国民の安心・安全を暮らしと経済活動の基盤として支える社会資本整備を、専門技術者集団として支える建設コンサルタントの「広報」の在り方について、人々の有識者の経験と知見、そして視点を借りて熱く意見を交わした。

高久 自衛隊は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。確かに、東日本大震災の際の自衛隊の活躍は、マスコミ、そして国民に好意的に受け止められたと思う。災害派遣は自衛隊の任務として国民に認識されるようになったと思うが、自衛隊の本来の任務防衛。このことを踏まえて広報でどうにか「広報」は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。北朝鮮からのミサイル飛来が懸念されている。市ヶ谷駐屯地にも迎撃ミサイルが配備されたが、「インシデント」の発生が懸念されるから撃つことは難しい。自衛隊の駐屯地近くの住民も「陸軍」として入ると、海上自衛隊を海上保安庁だとの間違えて「海狼カモイヤー」として若い女性にだてていられる。

長谷川 私は建設業界はもともと広報を重要視してはなかった。これまで社会資本整備そのものの社会貢献が考えてきた。だが、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

高橋 副会長は「何で理解されないのか」という問いを、今までと同じ「JCA」で語っていきなさいと、うなづかせる。そんな言葉は、聞かなくていい。建設業界は、自分たちが伝えたこと(情報)で国民の安心・安全を暮らしと経済活動の基盤として支える社会資本整備を、専門技術者集団として支える建設コンサルタントの「広報」の在り方について、人々の有識者の経験と知見、そして視点を借りて熱く意見を交わした。

高久 自衛隊は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。確かに、東日本大震災の際の自衛隊の活躍は、マスコミ、そして国民に好意的に受け止められたと思う。災害派遣は自衛隊の任務として国民に認識されるようになったと思うが、自衛隊の本来の任務防衛。このことを踏まえて広報でどうにか「広報」は、建設業界の皆さんと同じくらい大切な存在だ。北朝鮮からのミサイル飛来が懸念されている。市ヶ谷駐屯地にも迎撃ミサイルが配備されたが、「インシデント」の発生が懸念されるから撃つことは難しい。自衛隊の駐屯地近くの住民も「陸軍」として入ると、海上自衛隊を海上保安庁だとの間違えて「海狼カモイヤー」として若い女性にだてていられる。

長谷川 私は建設業界はもともと広報を重要視してはなかった。これまで社会資本整備そのものの社会貢献が考えてきた。だが、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

野崎 ケネスの3人のパネリストの方から、「自身と広報との関わりから広報の在り方についてそれぞれ意見を述べたい」との発言が、社会資本整備の重要性を改めて認識していただくきっかけとなり、その後のディスカッションで、建設一貫大島一哉会長が「建設一貫の今後の活動の方向性を考えたい」との発言が、高橋氏に「広報」としては雑誌を創るとか、ホームページを開設するといったことを連想したが、こうした手段は小手先。最も重要なのはアウトカムだ。アウトカムとは政策に対する効果を高める指標のことだが、広報も「何のために(行いの)か」を明確にする必要がある。誰に何を伝えて、どのような結果を得たいのか、具体的なイメージを持つための必要があると思う。

JCA 一般社団法人 建設コンサルタント協会

東京都千代田区三番町1番地 (KY三番町ビル)
TEL.03-3239-7992 FAX.03-3239-1869
URL: http://www.jcca.or.jp/
E-mail: info@jcca.or.jp